

1. 化学品及び会社情報

製品名	imageFORMULA クリーナー
製品コード	5837C001
供給者の会社名称	キャノンマーケティングジャパン株式会社
住所	〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6
担当部門	製品安全推進担当
電話番号	03-6719-9508
製造者	キャノン電子株式会社 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-10
推奨用途及び使用上の制限	クリーニングスプレー液

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類されない
GHSラベル要素	
絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
-------------	-----

発行日：2022年1月18日
改訂日：2022年7月27日

SDS番号：MSDS-202112-001
imageFORMULA クリーナー

成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
界面活性剤	< 0.5	CBI	CBI
防腐剤	< 0.5	CBI	CBI
水	> 99	なし	7732-18-5

CBI: 営業秘密

4. 応急措置

吸入した場合	異常が生じるならば、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水で洗い流す。皮膚に関する異常が生じるならば、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	水で洗い流す。眼に関する異常が生じるならば、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐き出させず水で口の中をすすいで、本品を持参の上、直ちに医師の診断を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入	なし
皮膚	なし
眼	なし
経口	なし
応急措置をする者の保護及び 医師に対する特別な注意事項	なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、二酸化炭素、乾燥砂、粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	なし
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	通常の消火活動用の保護具を着用する。

発行日：2022年1月18日

改訂日：2022年7月27日

SDS番号：MSDS-202112-001

imageFORMULA クリーナー

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

必要に応じ、適切な保護具を着用し、皮膚や眼への接触、吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川や下水に流さない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

吸着剤(おがくず・土・砂等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

皮膚や眼への接触、吸入を避ける。もし付着した場合は、十分に洗浄する。換気が十分な場所で使用する。

他の液体と混ぜない。

機器本体の電源を切って電源コードを抜いてから使用する。

機器に直接スプレーしない。

白濁等変化が見られた場合は使用を中止する。

保管

0°C以下、40°C以上になるところには保管しない。

直射日光のあたるところには保管しない。

密栓して、子供の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

製品

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
クリーニングスプレー液	設定なし	設定なし	設定なし

成分

化学名又は一般名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
界面活性剤	設定なし	設定なし	設定なし
防腐剤	設定なし	設定なし	設定なし
水	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策

通常の取り扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

保護具

呼吸用保護具	通常の取り扱いにおいては、不要。
手の保護具	必要に応じて保護手袋等を着用する。
眼の保護具	通常の取り扱いにおいては、不要。
皮膚及び身体の保護具	通常の取り扱いにおいては、不要。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	なし
融点・凝固点 (°C)	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 (°C)	100°C
可燃性	該当しない
爆発下限界及び爆発上限界／可燃範囲	データなし
引火点 (°C)	なし
自然発火点 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
pH	5.5
動粘性率 (mm ² /s)	データなし
溶解度	

発行日：2022年1月18日
改訂日：2022年7月27日

SDS番号：MSDS-202112-001
imageFORMULA クリーナー

水溶性	可溶
脂溶性	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.0
相対ガス密度	データなし
粒子特性	該当しない
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	0°C以下、および40°C以上
混触危険物質	酸、塩基、酸化剤、還元剤、金属粉末
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

発行日：2022年1月18日
改訂日：2022年7月27日

SDS番号：MSDS-202112-001
imageFORMULA クリーナー

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	Ames試験：陰性（サルモネラ菌、大腸菌）
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし
その他の情報	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

内容物/容器は地域、国や地方自治体の適切な法律や条例に従って廃棄する。

発行日：2022年1月18日
改訂日：2022年7月27日

SDS番号：MSDS-202112-001
imageFORMULA クリーナー

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
特別な注意事項	IATA: 該当しない
MARPOL 73/78付属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送される 液体物質	該当しない
国内規制がある場合の規制情報	なし

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（化管法） 第一種／第二種指定化学物質	該当しない
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
消防法 危険物及び指定可燃物	該当しない

16. その他の情報

参照規格

本安全データシート（SDS）は、JIS Z 7253：2019（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252：2019（GHSに基づく化学品の分類方法）に従っている。

引用文献

発行日：2022年1月18日

改訂日：2022年7月27日

SDS番号：MSDS-202112-001

imageFORMULA クリーナー

-
- 労働安全衛生法 管理濃度
 - 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
 - 米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices

略語

- 化審法: 化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法: 労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- IATA: International Air Transport Association（国際航空運送協会）
- JIS: Japanese Industrial Standards（日本産業規格）
- CBI: Confidential Business Information（営業秘密）

本SDSは、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。